

全国大会初出場！



八百津町からは3人の選手が出場しました

キャプテンの平林沙姫（ひらばやし さき）さん（2年）は「キャプテンとしてチームを引っ張り、まず初戦突破を」と力強く語っていました。

3月25日から各務原市で開催される第41回全国高等学校選抜ホッケー大会に、県の代表として出場する、東濃実業高等学校女子ホッケー部所属の八百津町在住の選手が来庁し、赤塚町長に大会に挑む意気込みを報告しました。

同ホッケー部は11月、12月に行われた予選を突破し昭和53年に創部以来、初の全国大会への切符をつかみ取りました。

赤塚町長から「県の代表として緊張せず普段の力を発揮して欲しい」とエールを受けた

137年の歴史に幕、ありがとう福地小学校

3月21日、137年の歴史に幕を閉じ久田見小学校と統合されることになった福地小学校で閉校式が行われ、児童、卒業生、来賓、地域のみなさんら約250人が学舎に別れを告げました。

式典では、「ありがとう！福地小」と題して福地の1年間の行事を発表しました。「お別れの言葉」では児童9名が「9人で学んだ福地小学校の毎日は絶対に忘れません！久田見小学校に行っても福地小学校で学んだことを生かしていきます。」と見行山に向かって誓い、その言葉に参加者からは感動の拍手が沸き上がりました。その後、参加者全員で福地小学校の校歌を合唱。午後からは閉校記念パーティーを行い、なつかしい思い出を語り合っていました。



参加者全員で風船を飛ばしました



「福地の里」を合唱する児童